

MSC スプレンドィダの横浜発着クルーズ(1)

事務局長 池田良穂

まだ乗船したことのなかった MSC クルーズの約 14 万総トン船「MSC スプレンドィダ」の横浜発着の 8 泊北海道・東北・ロシアクルーズに乗船することにしたのは、半年以上前のことでした。4 人部屋の左舷ベランダ付のキャビンにすることにしましたが、某旅行社ではキャビンの指定ができなかったため、馴染みのマーキュリートラベルにお願いしたところ、すぐに押えていただけました。左舷側のベランダ付キャビンは、狭水道では船は舷側右側通行なので、反航する船の写真を撮るための必須条件です。孫を 2 人連れてのクルーズでしたが、3 人目の値段は安く、4 人目はほぼタダでしたので、ベランダ付キャビンでも予算内に収めることができました。

事前に自宅に届いた案内によると、大黒ふ頭での乗船ですが、大棧橋の客船ターミナルからシャトルバスがでるとのこと、乗船時間は 16 時と指定されていました。18 時の出港ですので、ずいぶん遅い受付時間で、それまでどう時間をつぶすか迷っていたところ、大阪から東京までの飛行機の予約便がエンジントラブルで変更となり、関空発は 7 時となり、さらに待ち時間が増えました。

大棧橋に 9 時に到着し、コインロッカーに 4 つのスーツケースを預けて、赤レンガ街等で買い物をしてから横浜のレストラン船「ロイヤルウィング」に乗船することにしました。これだと MSC スプレンドィダの姿も綺麗に撮れるはずですし、乗船までの時間もつぶせます。

ロイヤルウィングの 12 時の出港に合わせて大棧橋に到着すると、すでに MSC の受付がはじまっているではありませんか。「16 時の指定なのですが」と聞くと、係員は「12 時から順次乗れますよ」とのこと。時間つぶしに悩む必要はなかったのです。

スーツケースを船に預けて、アクセスバスの番号札をもらってから、予定通りに「ロイヤルウィング」に乗船しました。料金は中華バイキング付きで、約 2 時間コースで 5500 円。なつかしの関西汽船の船なので、横浜に来て乗らないのも失礼なので、計画通りにランチクルーズを楽しむことにしました。とはいっても、「MSC スプレンドィダ」の姿をカメラに収めるという大事な用務をはずすわけにはいかなかったというのが本当の理由です。

平日にもかかわらず、船内のバイキングレストランはほぼ満席の状況で、横浜のダイクルーズもしっかりと根付いているようでした。食事もなかなか美味しかったです。



大栈橋に入港する「にっぽん丸」です。



大栈橋から乗船した「ロイヤルウィング」です。



大黒埠頭に停泊する「MSC スプレディダ」です。



ロイヤルウィング船上から見た MSC スプレディダです。



大黒ふ頭にはクルーズ用らしき建物が見えました。





大黒ふ頭には2隻のPCCも停泊していました。



大棧橋に停泊中の「にっぽん丸」です。



横浜の遊覧船「マリーンシャトル」です。



保存船「氷川丸」が見えました。